

キャリアセミナー（職業能力開発）

【テーマ】汽水域の保全と生物の多様性

【日 時】平成 24 年 10 月 31 日

【講 師】和田恵次さん（奈良女子大学大学院自然科学系 教授）

【感 想】

●生物の多様性をよく理解することができました。人間も同種であっても歴史や文化が異なる場合、それぞれの文化の保護が求められますし、それが叶わない時には衝突が起きます。人間から見て非常に微小な存在であるカニに目を転じても同様なのだと理解し、その上で改めて人間社会について考えてみると、文化や社会の違いがどれだけ小さく見えようとも、その差は大切にしなければならない、保全しようとする考え方が貴重なものであるように思いました。生物の保全と人間社会とを相互交換的に考えてみると、新たな視点を得られるように思います。

●生物学系の授業は自分の専門ではないけれど、専門用語や表・グラフの意味していることを分かりやすく話してくださって興味深い講義だった。物の見方を変える、当たり前、自然だと思っているものに疑問を持つことが、失敗と同様研究を進める key になるのだと思った。

●同一種でも地域によって差があることを踏まえて保全すべきというお話、建築※にもとても関連があると思い、興味深く聞かせていただきました。※民家のづくり方も地域によって差異があり、その背景には気候、職人、材料、技術などが関わっていて、総合的な保全が望まれるという点。